

公益財団法人豊橋文化振興財団情報誌

2015年5月—6月

プラット ニュース

vol. 13



TOYOHASHI
ARTS
THEATRE
PLAT

5年ぶりの新作引っさげ豊橋に再登場。 やむことのない冒険心で「グループ・ばる」が挑む 『蜜柑とユウウツ—茨木のり子異聞—』

2015年6月23日
PLAT主ホール

撮影=谷古宇正彦



松金よね子 『寄りかからず』に 魅せられて

小林隆さんは30年前から茨木さんのファンだそうで、彼女が亡くなったときの新聞の切り抜きまで持っていて、(今回のオファーを)「もう、運命かと思った」って。

演劇は、客席と舞台の 「気」のぶつかりあい

— タイトルが面白い。なぜ、「蜜柑」なのですか。

松金 ● 茨木さんのお宅には、彼女が嫁ぐときに実家から持ってきた蜜柑の木があって、その木が、ずっと彼女とご主人を見ていたっていう設定です。本当はネーブルだったって、後でわかるんですけど、漢字の「蜜柑」がいいなと思って。

— PLATは初めてですが、豊橋は2回目。前回の公演では、「また来てほしい」というお客さまの声がいくつもありました。

松金 ● ありがとうございます。相性というんでしょうか、実は、私たちも前回、客席から「気」が昇ってくるのを感じていました。演劇は生身。面白いかどうかというより以上に、お客さまの気と私たちの気とのぶつかりあいですから、とても楽しみにしています。

今回、私たちは、茨木のりさんが創刊した同人誌「穉」のメンバーでもあった谷川俊太郎さんにもお話をうかがってきました。そうしたら、お茶目でしたらっほい女性という像も浮かび上がってきた。それは、詩から受けるイメージとは差があると思います。だから「異聞」なんですけど、でも、自分の言いたいことを代弁してくれていると思う方は、きっとたくさんいらっしゃる。5年ぶりの新作、ぜひ見てください。

— 茨木さんは愛知県西尾市のご出身です。地元で関連する活動をしている方にも、ぜひ見ていただきたいですね。今日は、ありがとうございました。

〔まつかね・よねこ〕東京都出身。テアトルエコーを経て、小劇場から商業演劇、ミュージカルと幅広く活躍している。テレビ、映画に多数出演。1981年に『地下は天国』で第16回紀伊國屋演劇賞受賞。主な出演作は、ミュージカル『プロデューサーズ』、『検察側の証人』、東京ヴォードヴィルショー『トノに降る雨』、トム・プロジェクト『エル・スール』、山田洋次監督『小さいおうち』、テレビ東京『ふるさと再生 日本の昔ばなし』語り手など。

三年目のPLATへ 皆さんと育ててきた 「よろこび」が実を結ぶ

芸術文化アドバイザー

平田満

今年度の主ホールは、『蜜柑とユウウツ』をはじめ、佐々木蔵之介さんのひとり舞台『マクベス』、蛭川幸雄さん演出、オール男性キャストの『ヴェローナの二紳士』、永井愛さん作・演出『書女』等、注目の演劇が目白押しです。その最初を飾らせていただくのが、『ART』。市村正親さん、益岡徹さん、そして私の男3人芝居。16年前の初演と同じキャストで、私自身、まさかこの年齢で実現するなどとは思っていませんでした。こういった映像ではありえないことが起きるのも、演劇ならではの楽しみをしています。

女性グループ「る・ばる」の向こうを張るわけではありませんが、男だけの芝居もいいものです。なにか制約があるほうが工夫や意外性があって新鮮です。標準的な家族とか、男女の役割といったものが揺らぎ始めた今、多様なお芝居が生まれています。もっとも、作者のヤスミナ・レザさんは女性。彼女の目を通して描かれる物語に、時代を問わずつくづく「男って愚かだな」と思われます。

10月には、アートスペースこけら落とし公演『父よ!』も再演されます。あの「兄弟」とまた会えると思うと、ワクワクします。オープン3年目に主ホールとアートスペースを体験できてとても嬉しいです。皆さんとともに創り育ててきた「よろこび」が、実を結びつつあるのを感じます。

— 5年ぶりの新作です。

松金 ● 私たち、劇団ではないんだし、「来年何やろう、再来年何やろう」って決めるより、「やりたい!」っていう気持ちがあったときに立ち上がるほうがいいかなって。今回の作品は、4年ぐらい前に茨木のり子さんの『寄りかからず』を読んで、「凄!」って思ったのが始まりです。それからもう、茨木のり子中毒(笑)。亡くなられた翌年に出版された『歲月』で涙が止まらなくなって、彼女、亡き夫への思いをずっと書きためていたのね。30年も最初に抱いた「凛として包み隠さず思いを述べる人」というイメージとは違う、なにか素顔が見えたような気がしたんです。「る・ばる」のみんなに話したら、これはすごい! やりたい! って。詩だけなのにどうやってやるの、なんてまったく考えずにね。でも、彼女が詩に書いたことは今一番必要とされていることだろうし、それをなんとか皆さんに届けられないかなと思ったんです。

— 三者三様の女性像を持つ「る・ばる」に、社会派といわれる長田育恵さんの作、そして演出は小劇場から娯楽劇まで手がけるマキノノゾミさんで、客演の俳優たちも个性的です。どうやったらこの組み合わせができるかと、ちょっと驚かされます。

松金 ● 毎回、どんなコラボが見られるのだろうって皆さん楽しみにしてくださるんですけど、ホント「勘」ですね。今回の芝居は、詩人の評伝でもなく、茨木のり子の世界を表現できるか? というところにチャレンジしよう。そうしたら、マキノさんがチラシの最後に「よい芝居にしなければなりません。絶対に!」と書いてくださって、この一言に彼の決意を感じて、とても心強く思いました。それから、キャストの

PLATオープン前の2013年2月、市民文化会館で『片づけたい女たち』（永井愛作・演出）を上演して多様な女性像を見せてくれた「グループ・ぼる」。岡本麗、田岡美也子、松金よね子の女性3人による演劇ユニットです。その彼女たちが6月、新作『蜜柑とユウウツ―茨木のり子異聞―』を引っさげて、主ホールにやってきます。なぜ今、詩人・茨木のり子なのか、そこに込めるものはなにか。メンバーのひとり、松金よね子さんと演出のマキノゾミさんにお話をうかがいました。聞き手＝シニアプロデューサー 中島晴美

グループ・ぼる Vol.22

『蜜柑とユウウツ―茨木のり子異聞―』

- 作＝長田育恵 [てがみ座] ●演出＝マキノゾミ
- 出演＝松金よね子 / 岡本麗 / 田岡美也子
木野花 / 小林隆 / 野添義弘 / 岡田達也
- 日時＝2015年6月23日 [火] 18:30開演
- 会場＝PLAT主ホール ※終演後、アフタートークあり。
- 料金＝[全席指定] S席:5,000円 / A席:4,000円 / B席:3,000円



——松金さんも言ってらっしゃいましたが、チラシの最後の1行がすごい。宣誓のようです。マキノ●茨木のり子さんの詩って決意表明のような感じがあって、だから僕らも全力を尽くして美しい瞬間を立ち上げねばならないと決意表明しなければならないような気に、つついなりまして(笑)。それに「る・ぼる」の皆さんは、いつも冒険心をもって新しい劇作家や演出家と出会うことを繰り返して、優れた作品を創ってこられたので、自分も引き受けたからには恥ずかしい仕事はできないぞという気負いもありましたので(笑)。

——詩を舞台にする。マキノさんならではの視点がありそうです。

マキノ●この作品は、「る・ぼる」の皆さんが、詩人の茨木のり子さんをなんとかお芝居にしたいという強い思いがまず最初にあつて、そこからすべてが始まっています。だから出来あがつたお芝居は、どんな形であっても、それは茨木さんの詩に込められたものから始まっているわけで、それはもう茨木さんの詩の一篇というか、変奏曲だといってもいい。今回の作家は長田育恵さん。2年ぐらい前かな。彼女の『空のハモニカ』っていう金子みすゞを書いた作品が素晴らしくて、だから、今回も長田さんがどんなふうに着曲を書かれるんだろうって、むしろ僕自身が楽しみにしています。前に彼女と話したときには、「この詩にはこんな場面がふさわしい」といったふうに、一つの場面が一つの詩になるようなイメージでいいのじゃないかと。だから、茨木さんを演じる俳優も場面によって変わってもいいと。

——組曲みたいなものですね。

マキノ●そうですね。一つの演劇ではあるんだけど、物語というよりは一冊の詩集のような。そういうものになればいいなと思っているんですけどね。

人は、こんなふうにもなれる

——茨木さんは「軍国少女だった」と、ご自分で書いていらっしゃいます。

マキノ●『わたしが一番きれいだったとき』に、「わたしの頭はからっぽで/わたしの心はかたくなで」と、そのときの自分を叱るような言葉もある。確かに自分ひとりのせいではないんだけど、そこに流されていた自分を悔やむというか、何故そうだったのかという疑問を強烈に自分に突きつけ続けたというか。だから、戦後ずっと「自分で考え、自分の足で立ていなくてはならない」という生き方をされた。同じような軍国少女、軍国少年はいっぱいたと思うけど、口をつぐんでしまった人も多い中で、この人は最後までそんなふうには生きてきたんだあとということが、すごく鮮烈でした。

今の時代、戦争前にどんどん似てきていますよね。その中で僕らは日々自分の無力を感じてしまう。でも、だからこそ、茨木さんの生き方をもう一度見つめるという意味は大きいと思うんです。「る・ぼる」が茨木さんに触発されて生まれたお芝居が、人はこんなふうにもなれるんだって誰かの出発点になったら、それはすごく素敵なことで。

——そうですね。茨木のり子という五線譜に俳優たちがどう音を置いていって、マキノさんがどう指揮棒を振っていくか。ちょっと新しい感じがします。期待しています。

[まきの・のぞみ] 1959年生まれ、静岡県出身。劇作家、脚本家、演出家。1984年劇団M.O.P.結成。2010年の解散公演まで主宰を務める。『東京原子核クラブ』で第49回読売文学賞受賞、『MOTHER』で第45回芸術選奨文部大臣新人賞、『高き彼物』で第4回鶴屋南北賞、『殿様と私』で第15回読売演劇大賞優秀作品賞、他作品含め受賞歴多数。演出のみを手掛けた主な作品に、『怒涛』(読売演劇賞優秀演出家賞受賞)、『かもめ』、『淋しいのはお前だけじゃない』、『マリ―アントワネット』、『雪まろげ』、『秘密はうたう』など。



演出
マキノゾミ
詩集のような演劇。
そういうものにならばいい。

4/23 THU 5/6 WED 6/19 FRI

東三河の若手音楽家育成コンサート
PLAT enjoy music!

- 会場=PLATアールスペース
- 料金=[日時指定・全席自由]各回500円

ランチタイムコンサート
音楽で巡る世界の旅—ヨーロッパ—

好評発売中

- 日時=4月23日[木]11:30開演
- 出演=COLORFUL
曾田朋世[ソプラノ]／高岡真貴[クラリネット]／鈴木恵深[ピアノ]
- 曲名=シューベルト:岩の上の羊飼いか

親子で楽しむ音楽会 0歳児より入場可

好評発売中

- 日時=5月6日[水・休]11:00開演
- 出演=Ensemble Chouette[アンサンブル シュエット]
加藤英子[オーボエ]／古川真帆[ファゴット]／井上陽葉[ピアノ]
ゲスト:本田沙紀[クラリネット]
- 曲名=モーツァルト[井上陽葉 編曲]:きらきら星☆編奏曲 ほか

鈴木研吾 & 坂本陽香デュオ

会員・一般発売=4月23日[木]

- 日時=6月19日[金]19:00開演
- 出演=鈴木研吾[サクソフォン]／坂本陽香[パーカッション]

4/26 SUN

春風亭小朝 独演会

前売予定枚数終了・当日券の販売に関してはお問合せ下さい。

- 出演=春風亭小朝
- 日時=4月26日[日]13:30開演
- 会場=PLAT主ホール

5/3 SUN—5/4 MON

とよはしアートフェスティバル2015

大道芸 in とよはし

ここかと思えば、あそこでも。いきなり始まる大道芸のミニシアター。いつもの街がまるごと劇場になる2日間です。

- 日時=5月3日[日]／4日[月・祝]
- 会場=穂の国とよはし芸術劇場 PLAT／豊橋駅南口駅前広場
ココラアベニュー／広小路通り／ときわアーケード ほか
※広小路通り／ときわアーケードは3日のみ
- 料金=入場無料

5/12 TUE

ART アート

前売予定枚数終了・当日券の販売に関してはお問合せ下さい。

- 作=ヤスミナ・レザ
- 演出=パトリス・ケルブラ
- 出演=市村正親／平田 満／益岡 徹
- 日時=5月12日[火]19:00開演
- 会場=PLAT主ホール

5/25 MON—5/30 SAT

好評発売中

松竹大歌舞伎関連企画

歌舞伎衣裳展

「助六由縁江戸桜」から助六、意休、揚巻

松竹大歌舞伎公演開催を記念して「助六由縁江戸桜(すけろくゆかりのえどざくら)」の豪華な衣裳を展示します。また期間中は毎日、松竹衣裳スタッフによる女形着付けデモンストレーションをご覧いただけます。

- 会期=5月25日[月]—30日[土]11:00~18:00
※29日[金]は20時まで、最終日30日[土]は17時まで
- 会場=PLATアールスペース ●鑑賞券=500円

|特別エキシビション|女形ができるまで [鑑賞券で観覧可]
期間中は毎日2回開催 ①11:30~/②15:00~(各30分間)

6/23 TUE

好評発売中

グループ・ぼる Vol.22

蜜柑とユウウツ —茨木のり子異聞—

- 作=長田育恵[てがみ座] ●演出=マキノゾミ
- 出演=松金よね子／岡本 麗／岡田美也子／木野 花／小林 隆
野添義弘[SET]／岡田達也[演劇集団キャラメルボックス]
- 日時=6月23日[火]18:30開演 ●会場=PLAT主ホール
- 料金=[全席指定]S席:5,000円/A席:4,000円 ほか

7/8 WED—7/9 THU

平成27年度公共ホール演劇ネットワーク事業

ハイバイ ヒッキー・カンクーントルネード

劇団ハイバイの処女作にして最大の人気作。ひきこもり(ヒッキー)でプロレスラーを夢見ている長男を家族らが外に出させようとしてあれこれ策を練る。果たして彼は外に出られるのか。そしてなぜ人は「外」に出た方が良いのか。

会員先行=5月9日[土] 一般発売=5月16日[土]

- 作・演出=岩井秀人
- 日時=7月8日[水]／9日[木]両日19:00開演
- 会場=PLATアールスペース
- 料金=[日時指定・全席自由・整理番号付き]一般:3,000円
U24:1,500円／高校生以下:1,000円
- 7月25、26日「cocoon」との2公演セット券[一般]:6,000円
【関連企画】岩井秀人「演劇ワークショップ」、三好佐智子「制作ワークショップ」6月13日[土]開催。詳細はチラシ、劇場ホームページ等を参照。



7/16 THU

松竹大歌舞伎

中村翫雀改め四代目中村鴈治郎襲名披露

会員先行=4月11日[土] 一般発売=4月18日[土]

※各発売初日は、お一人様一申込につき4枚まで。

- 出演=中村翫雀改め四代目中村鴈治郎／坂田藤十郎
中村扇雀／尾上松緑 ほか
- 日時=7月16日[木]13:00開演／18:00開演
- 会場=PLAT主ホール
- 料金=[全席指定]S席:10,000円/A席:7,000円 ほか

7/25 SAT—7/26 SUN

マームとジブシー

COCOON 憧れも、初恋も、爆撃も、死も。

漫画家・今日マチ子が沖縄戦に動員された少女たちから着想を得て描いた傑作「cocoon」。マームとジブシーにより2013年に舞台化された作品を再創造し上演します。

会員先行=5月9日[土] 一般発売=5月16日[土]

- 原作=今日マチ子 ●作・演出=藤田貴大 ●音楽=原田郁子
- 日時=7月25日[土]/26日[日] 両日14:30開演
- 会場=PLATアトスペース ●料金=[日時指定・全席自由・整理番号付き]一般:3,600円/U24:1,800円/高校生以下:1,000円

◎7月8、9日
「ヒッキー・カンク
ントルネード」との
2公演セット券
[一般]:6,000円

※当初新聞等に掲載した
開演時間から変更になり
ました。



©飯田浩一

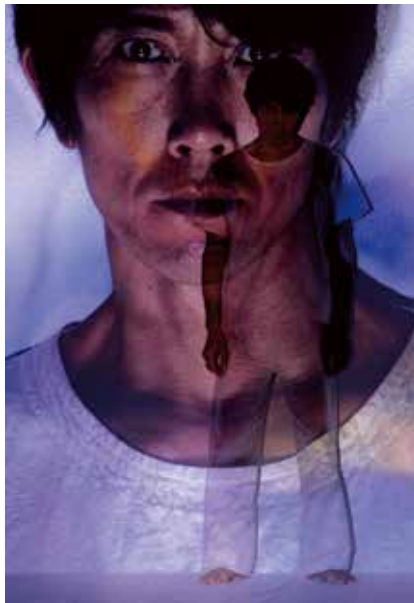
8/8 SAT—8/9 SUN

マクベス

シェイクスピア四大悲劇「マクベス」に佐々木蔵之介が挑む。精神病院を舞台にたった一人の患者を通して、マクベスの物語が描き出されます。

会員先行=5月23日[土] 一般発売=6月6日[土]

- ※各発売初日は、お一人様一申込につき4枚まで。
- 出演=佐々木蔵之介 ●作=W.シェイクスピア
 - 日本版演出=アンドリュウ・ゴールドバーグ
 - 翻訳=松岡和子訳「マクベス」より
 - 日時=8月8日[土]・9日[日]両日14:00開演
 - 会場=PLAT主ホール
 - 料金=[全席指定]S席:8,000円/A席:6,000円 ほか



9/9 WED

谷川俊太郎・谷川賢作 朗読 & ピアノ 家族の肖像 & 東海道を行く

日本を代表する詩人のひとりである谷川俊太郎と、その息子でピアニストとして活躍する谷川賢作による、朗読とピアノのステージです。

会員先行=6月13日[土] 一般発売=6月27日[土]

- 朗読=谷川俊太郎 ●ピアノ演奏=谷川賢作
- 日時=9月9日[水]19:00開演 ●会場=PLAT主ホール
- 料金=[全席指定]一般:3,000円/ユース[24歳以下]:1,500円

9/13 SUN

立川志の輔独演会

古典・新作を問わず落語に新しい息吹を吹き込む、大人気の立川志の輔による独演会です。

会員先行=7月4日[土] 一般発売=7月11日[土]

※各発売初日は、お一人様一申込につき2枚まで。

- 出演=立川志の輔
- 日時=9月13日[日]13:30開演 ●会場=PLAT主ホール
- 料金=[全席指定]一般:4,000円 ほか

9/20 SUN

カニサレス・フラメンコ・カルテット・リサイタル

世界最高峰のフラメンコ・ギタリスト、ファン・マヌエル・カニサレス率いるカルテットによるコンサート。名曲からオリジナル作品まで幅広くお楽しみいただけます。

会員先行=6月20日[土] 一般発売=7月5日[日]

- 出演=カニサレス・フラメンコ・カルテット
- 日時=9月20日[日]16:00開演 ●会場=PLAT主ホール
- 料金=[全席指定]S席:5,000円/A席:3,600円 ほか

9/27 SUN

劇団四季ミュージカル 人間になりたがった猫

6月上旬発売予定

- 日時=9月27日[日]16:00開演予定 ●会場=PLAT主ホール
 - 料金=[全席指定]S席:一般5,000円・子ども3,000円
A席:一般3,000円・子ども2,000円(予定)
- ※詳細につきましては、5月下旬以降にお問い合わせください。

チケットの購入・お問合せ プラットチケットセンター

●劇場窓口・電話 ●オンライン
0532-39-3090 <http://toyohashi-at.jp>

[休館日を除く10:00~19:00] [24時間受付・要事前登録]

プラットフレンズ募集 入会金・年会費無料

- 特典
 - 1 公演情報をメールでご案内します。
 - 2 インターネットでチケット予約ができます。
 - 3 主催公演のチケットを一般発売に先がけてご予約できます。
- ※劇場窓口または劇場ホームページからご登録いただけます。
<http://toyohashi-at.jp>



U24・高校生以下割引ご案内

ほほすべての財団主催公演に、若い人にお得な料金を設定しています。

- 料金=U24[24歳以下対象]:公演ごとに指定する席種の半額
- 高校生以下:一律1,000円 ●購入方法=各公演の一般発売初日から窓口にて取扱い。
- その他=本人のみ1公演につき1人1枚。枚数限定。座席の指定はできません。要・入場時身分証明書提示。

穂の国とよはし芸術劇場 PLAT

〒440-0887 愛知県豊橋市
西小田原町123番地
Tel 0532(39)8810[代表]
開館時間=9:00~22:00
休館日:第三月曜・年末・年始。

第三月曜が祝日の場合はその翌日。
豊橋駅(JR東海道新幹線・東海道本線・名古屋鉄道)、新豊橋駅(豊橋鉄道渥美線)直結。豊橋駅南口から徒歩3分。
※駐車場はありません。公共交通機関、お近くの公共駐車場等をご利用下さい。



ホワイエ ON PAPER

3月14、15日、主ホールで上演された「市民と創るスケッチ群像劇『話しグルマ』」。10代から60代の市民が、いわば仕掛け人である近藤芳正さんの「殻を破れば相当熱いものがあるんじゃないか」(本誌12号)との予感通りの舞台上で魅せてくれました。その興奮未だ冷めやらぬ16日、山田佳奈さんにお話をうかがいました。

—今のお気持ちは？

山田 ◆直前まで稽古を続けての本番だったんですけど、本当に同じものにならない。なんでだろうと考えていて思ったのは、この人たちにとって一瞬一瞬が、自分の生きている延長線なんだなって。その場に対しての、仲間に対しての気持ちが生まれ変わっていくからなんだと。キラキラした感情を持っているほど本番に強いというか、千穉楽で今まで見られなかった世界を見せてくれて、本番はその集大成だったのかなと思いました。プロの役者は、どうしてもどこかで「知ったフリ」をしたり、自分のなかでルールを作ったりしてしまう。皆さんにそれはなくて、たとえばルールも一から作っていく、そもそもルールとは何なのかから吸収する。プロになると良くも悪くも固くなっていくんだな、そこを素直な状態に自分を解きほぐせる柔らかさが必要だなって、そんな反省もありますね。

—今回の脚本は即興劇という手法でした。

山田 ◆いつもの、自分が見たい世界、自分が作りたい世界とは離れていたの、新鮮でした。自分が知りえなかった世界というか。もう30歳になる年ですが、60歳ぐらいの方の気持ちにはとうてい到達できないですし、自分が書いたセリフよりよほどリアルというか、生々しいんだ

市民と創るスケッチ群像劇『話しグルマ』 脚本・演出助手 山田佳奈スペシャルインタビュー 本番は、キラキラした感情の集大成



撮影=伊藤華織

なあと。その人の人生に根付いたセリフは重要な力を発する、生きている人の言葉は本当にすごいと感じました。

きっと脚本の言葉も豊かになる

—昨年2月のワークショップから数えると1年を超えるプロジェクトです。

山田 ◆1年間、何だかんだと一般市民の出演者34名分の人生に足を突っ込ませていただいたと思うんです。その中でいろんな方の表情や言葉が日々稽古場で変化していくのを目の当たりにして。自分だったらどうするだろうとか、次に進むときにこういうことが起こったらこうすればいいんだとか、いろいろ人として勉強させて頂くことも多くて。お芝居って一人の人間として成長していかないと、絶対に魅力的になていかないと思うんですけど、きっとわたし自身も脚本の言葉が豊かになっていくだろうし、それからたくさんの現場で戦ってらっしゃる近藤芳正さんや小野寺修二さんの姿勢はすごいなと。彼らと一緒に戦い切れたので、確実に芯が太くなるだろうなと思っています。

〔聞き手=事業制作グループ 吉川剛史〕



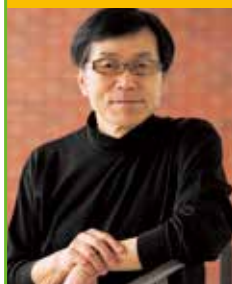
〔やまだ・かな〕劇作家・演出家・俳優・劇団□字ツク主宰。レコード会社のプロモーターから演劇の世界へ。20代、30代の男女の深層をリアルに描く“人間のナナメ読み”によるエッジの効いた戯曲と、ポップで疾走感ある演出が持ち味。閉塞的な人間関係の中で紡ぎだされる等身大の女性の本音を深く迫る作品に、同年代の女性を中心に共感を得る。劇団□字ツク(ロジック)を主宰する傍ら、ロックバンド等のライブ総合演出や音楽界の「夏フェス」ならぬ小劇場界の「鬼フェス」を主宰し、全団体の総合プロデュースを行うなど、エンターテインメント業界でマルチに活躍中。



芸術文化アドバイザー

第10回

平田 満のちょこっとエッセイ 「フローとよろこび」



「市民と創るスケッチ群像劇『話しグルマ』」がPLAT主ホールで上演されました。私も舞台稽古を拝見しましたが、出演の皆さんが実にのびのびと演技なさっているのを見て、自分の初舞台の頃を思い出しました。見てくれた高校時代の友人が、「こんなことをやらされて…」と憐れに思ったというほど、へたくそで恥をかきまくっていた私に比べれば、皆さん格段に舞台になじんでいて、近藤芳正さんのもと、スタッフとキャストの心の通い合った稽古がしのばれました。

ひょっとしたら出演者の皆さんは、舞台上がってセリフを間違えたり、カーツと熱くなった

り、思ってもみない感情が湧いたりしたかもしれません。

時の流れを忘れてしまう、自分という存在を忘れてしまう、行為そのものが喜びになる、そういう状態を脳科学ではフローと言い、創造性が最も発揮される瞬間と言われているそうです。

趣味やスポーツや仕事に乗っているとき、似たような経験をしたことはありませんか？それこそが「よろこび」ではないでしょうか。今から思えば、無我夢中だったあの無残な初舞台で、実は私はよろこびを感じていたのです。

東三河地域の拠点劇場へ

芸術文化プロデューサー 矢作勝義

PLATはこの4月30日でオープン3年目を迎えます。瞬間に、そして怒濤の如くに過ぎた2年間で、新設の劇場ですから、1年目は、ご利用いただくお客様をお迎えするスタッフとともに初体験ばかり。2年目は、多少慣れてきたものの、さまざまな取組みを質的に高めるべく考え奔走する日々でした。そして、いよいよ3年目。1年目に手さぐりで撒いた種が2年目に芽吹き、本格的に育ち始めるときです。皆さまとともに培ってきたものを大切に、かつ大胆に、さらに一歩先へと進んでまいります。

挑戦、感動、交流のプログラム

ここで、PLATの今年度のプログラムから年内上演予定の作品を紹介させていただきます。まずトップクラスの舞台作品をお届けするプログラムとして、芸術文化アドバイザー・平田満出演『ART アート』、佐々木蔵之介主演『マクベス』、蜷川幸雄演出・オールメールキャストの『ヴェローナの二紳士』を予定。男優陣の挑戦ともいべき3作

品です。また、幅広い年代層の方にお楽しみいただける、グループる・ばる『蜜柑とユウウツ』、劇団四季ミュージカル『人間になりたがった猫』、演劇集団キャラメルボックス『水平線の歩き方』などを開催予定です。いずれの作品もきっと今を生きる私たち一人ひとりの琴線を震わせてくれるでしょう。一方、小劇場作品では、ハイハイ『ヒッキー・カンクントルネード』、マームとジプシー『cocoon』の岸田國士戯曲賞受賞作家による2作品に加え、1年目に上演した『父よ!』を再演。また市民参加型のプログラムでは、「高校生と創る演劇」で野田秀樹作『赤鬼』を、「市民と創造する演劇」でシェイクスピア『夏の夜の夢』に挑戦します。古典芸能では、『松竹大歌舞伎』、『立川志の輔独演会』、『野村万作・野村萬斎狂言公演』を、音楽では『谷川俊太郎・谷川賢作朗読&ピアノ』、『カニサレス・フラメンコ・カルテット・リサイタル』、『小曽根真クリスマスジャズセッション』などのコンサートをお届けします。今年新春からスタートした若手音楽家による“PLATenjoy music!”も継続いたします。ゴールデンウィーク中には、劇場が地域に飛び出す“とよはしアートフェスティバル『大道芸 in とよはし』”を開催。大道芸人たちが繰り広げるパフォー

マンスをお楽しみください。今後、地域のアートイベントとの連携もさらに深めて参ります。また、人づくりのためのプログラムも積極的に開催し、昨年度に引き続き「ワークショップファシリテーター養成講座」、演劇・ダンスのワークショップやレクチャー・講座、市内の小学校・中学校などへ出向いてのワークショップなども企画しています。

劇場の可能性を広げ続ける

昨年度は文化庁の「劇場・音楽堂等活性化事業の活動別支援の対象施設」に選ばれ、今年度も継続、東三河地域の拠点劇場としての役割を担うことを期待されています。劇場は、子どもから大人まで年齢を問わず舞台公演を鑑賞する方、ワークショップなどに参加する方、施設を利用する方、カフェを利用する方、交流スクエアでの勉強や歓談、打合わせする方など、さまざまな方に日々利用していただけてこそ価値があります。劇場の可能性をさらに広げ、より多くの方々に楽しんでいただける環境の提供も大切な課題です。皆様のご支援とともに、ご意見やご感想をお寄せいただければ幸いです。今年もどうぞ、PLATをよろしく願っています。

<p>広告募集</p> <p>PLAT Costa Rica こすたりか</p> <p>予約弁当承ります。 詳しくはプラットこすたりかまで！ TEL=0532-56-3300</p>	<p>TAKEO 代表取締役 竹尾 誠 株式会社 竹尾建築設計事務所 豊橋事務所 / 豊橋市平川南町91-2 〒440-0035 Phone:0532-62-1331 (代) Fax:0532-62-1332 浜松事務所 / 浜松市東区流通元町13 〒435-0007 Phone:053-422-3628 (代)</p>	<p>看板 アラキ スタヂオ</p> <p>豊橋市上佐馬町十六 電話 055-586466</p>	<p>医療法人 慈 豊会 大島整形外科クリニック 理事長 大島 照夫 院長 大島 誠 東田町井原三九の七(市電赤石口終点前) 電話 六二一五五二二番(代)</p>	<p>本 豊川堂</p> <p>アルミ店 五四一六六八八番 ピタ店 五五一三八一〇番 タ店 五四一六三三二番</p>	<p>YMバレエ カンパニー</p> <p>ハロナ2 21 8610</p>	<p>有限会社 魚 伊</p> <p>電話 52-5256</p> <p>本と文具なら 精文館書店 TEL.54-2345</p>
---	---	---	---	--	--	---

<p>竹内産婦人科</p> <p>産婦人科 婦人科(不妊治療)</p> <p>豊橋市新本町 23</p> <p>豊橋 竹内産婦人科 検索</p>	<p>水各種販売 / 冷蔵倉庫業</p> <p>大正冷蔵</p> <p>本社 豊橋市湊町 117 TEL: 0532-52-1161 FAX: 0532-52-8015</p>	<p>COFFEE harobaro</p> <p>コーヒーハロバロ</p> <p>市民文化会館内にOPEN!</p>	<p>写楽集団・クラブ KAIHO</p> <p>DAIGOLAW 法務 NORI-G 事務 GUICCHI 事務 TAKEDA 法務</p> <p>photo</p>	<p>株式会社 谷山建築設計事務所</p> <p>豊橋市西羽田町一八三 http://taniguchi-archi.com</p>	<p>調理と製菓のおいしい資格。 豊橋調理製菓専門学校</p> <p>豊橋市八町通一丁目二二 TEL 五三二八〇九</p>	<p>グロトリアンピアノ地域特約店 白羽楽器株式会社</p> <p>電話 053-46413015</p>
--	--	---	--	--	---	---

<p>気まぐれコンサート</p> <p>事務局 / 0532-62-9259 (小川恵司)</p>	<p>茶屋</p> <p>am.10:00 ~ pm.5:00</p> <p>甘味処 抹茶・コーヒー あんみつ・豆かんてん 中岩田5丁目6の4 TEL.63-0202</p>	<p>共和印刷株式会社</p> <p>豊橋市小池町36番地の1 TEL 46132881 FAX 46132885</p>	<p>プラスワンの付加価値をお客様に提供いたします。</p> <p>整形外科・皮膚科・リウマチ科・リハビリテーション科 医療法人 大岩整形外科・皮フ科 院長 大岩 俊久 豊橋市大橋通二丁目二五 電話 五五二二一〇〇</p>	<p>高誠堂</p> <p>伝統的工芸品豊橋筆 書道用品専門店</p> <p>豊橋市呉服町四拾四番地 電話 五二一五五一四</p>	<p>創業文政年間 日築 飯 ぎく宗</p> <p>練物 專家 ねりや花ぞん コロンフロント ホテルアーケード内</p> <p>豊橋市新本町40 電話52-5473番</p>	<p>豊橋名産 舟ちくわ</p>
---	---	---	---	---	---	------------------

PLAT CALENDAR

5 MAY

- 3 SUN — 4 MON とよはしアートフェスティバル 2015「大道芸 inとよはし」 ●PLAT周辺
- 6 WED PLAT enjoy music!「親子で楽しむ音楽会」 ●PLATアートスペース
- 10 SUN 東三河ふれあい看護フォーラム ●PLAT主ホール
家庭倫理講演会「生きぬく力」 ●PLATアートスペース
- 11 MON 桂文我独演会 ●PLATアートスペース
- 12 TUE ART アート ●PLAT主ホール
- 17 SUN ピティナ・ピアノステップ 豊橋春季地区 ●PLATアートスペース
- 19 TUE — 21 THU 豊橋演劇鑑賞会第248回例会 劇団俳優座「春、忍び難きを」 ●PLAT主ホール
- 22 FRI PROJECT IX PLEIADES ●PLATアートスペース
- 24 SUN 小原流豊橋支部創立35周年特別講習会 ●PLAT主ホール
- 25 MON — 30 SAT 歌舞伎衣裳展 ●PLATアートスペース
- 26 TUE とよはし歌謡祭 ●PLAT主ホール
- 31 SUN 輪の会 民謡のつどい ●PLAT主ホール
第33回アコーディオンコンサート ●PLATアートスペース

6 JUNE

- 7 SUN 斎竹恭子バレエスタジオ 30周年記念発表会 ●PLAT主ホール
スタジオGAZEBO フラメンコ発表会 ●PLATアートスペース
- 19 FRI PLAT enjoy music!「鈴木研吾 & 坂本陽香デュオ」 ●PLATアートスペース
- 21 SUN 山崎ハコデビュー 40周年記念コンサート with 安田裕美 in 豊橋 ●PLATアートスペース
- 23 TUE グループる・ばるVol.22「蜜柑とユウウツ—茨木のり子異聞—」 ●PLAT主ホール
- 27 SAT Marcos 2015 you are... ●PLATアートスペース

[表紙写真] 芸術文化アドバイザー・平田満が『失望のむこうがわ』『海をゆく者』(いずれもPLATでも上演)で第49回紀伊國屋演劇賞個人賞を受賞。その授賞式会場にて。

企画・発行＝公益財団法人豊橋文化振興財団
編集＝森 絹江
デザイン＝松吉太郎デザイン事務所
写真[表紙]＝谷古宇正彦
平成27年4月 発行13号 [隔月発行]

穂の国とよはし芸術劇場

TOYOHASHI ARTS THEATRE
〒440-0886 愛知県豊橋市西小田原町123番地
Tel.0532(39)8810[代表] <http://toyohashi-at.jp>